

(様式6)

篠原 智行 氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目 Are contents of physical therapy in nine Japanese hospitals for inpatients with stroke related to inpatients' and physical therapists' characteristics?

(日本の9施設における入院脳卒中者に対する理学療法介入内容は、脳卒中者および理学療法士の特徴と関係しているか?)

Journal of Physical Therapy Science Vol. 25 No. 5

Tomoyuki Shinohara, Shigeru Usuda

論文の要旨及び判定理由

本研究は入院脳卒中者の理学療法介入内容を調査し、理学療法士や脳卒中者の属性が理学療法介入内容に与える影響を検証したものである。9か所の医療施設における85名の理学療法士に対して活動内容、介入方法、理学療法士と脳卒中者の属性を調査した。

理学療法士の平均年齢は27.1歳、平均経験年数は3.6年、治療介入対象となった脳卒中者は216名で、平均年齢は71.2歳、平均罹患日数は173.9日、1回の理学療法の平均時間は44.0分であった。活動の実施時間が長かったものは歩行18.9%、準備的活動17.4%、座位13.4%の順であった。歩行準備活動や応用歩行、屋外歩行の実施時間はmRSと歩行FIMと有意な相関関係が認められた ($|rs|=0.32-0.62$, $p<0.01$) が、その他の関連性は弱かった。歩行準備活動の実施時間を従属変数、理学療法士によるNDT介入の影響の有無を独立変数、理学療法士の年齢や脳卒中者の歩行FIMなどを共変量とした共分散分析の結果、有意な差が認められた ($F=6.65$, $p<0.05$)。これらの結果を欧米の先行研究と比較すると、移動関連活動や評価に費やす時間は少ないことが明らかとなった。また、理学療法介入内容は理学療法士の属性及び脳卒中者の属性が大きく影響していることが明らかとなった。

以上より、本研究は脳卒中者の理学療法介入のエビデンス確立のための基礎的研究として有益な内容であると認められ、博士(保健学)の学位に値するものと判定した。

(平成25年6月13日)

審査委員

主査 群馬大学大学院教授
リハビリテーション学講座 坂本 雅昭 印

副査 群馬大学大学院教授
リハビリテーション学講座 山崎 恆夫 印

副査 群馬大学大学院教授

参考論文

1. 多施設間共同研究による入院脳卒中者に対する理学療法介入内容の分析
理学療法学 第38巻第5号：364-373, 2011.
篠原智行、臼田滋

最終試験の結果の要旨

調査研究に伴うバイアスについて、若年理学療法士の教育方法について、および多施設間共同研究の有用性と限界について

試問し満足すべき解答を得た。

(平成25年6月13日)

試験委員

群馬大学大学院教授

リハビリテーション学講座

坂本 雅昭 印

群馬大学大学院教授

リハビリテーション学講座

山崎 恆夫 印

群馬大学大学院教授

リハビリテーション学講座

外里 富佐江 印

試験科目

調査研究に伴うバイアスについて

Ⓐ・否

若年理学療法士の教育方法について

Ⓐ・否

多施設間共同研究の有用性と限界について

Ⓐ・否

(様式7)

平成25年6月13日

群馬大学大学院保健学研究科長 殿

主査 群馬大学大学院教授
坂本 雅昭 印

副査 群馬大学大学院教授
山崎 恆夫 印

副査 群馬大学大学院教授
外里 富佐江 印

学位論文審査委員会報告書

1 氏名 篠原 智行

1 主論文

Are contents of physical therapy in nine Japanese hospitals for inpatients with stroke related to inpatients' and physical therapists' characteristics?

(日本の9施設における入院脳卒中者に対する理学療法介入内容は、脳卒中者および理学療法士の特徴と関係しているか?)

Tomoyuki Shinohara

1 参考論文

多施設間共同研究による入院脳卒中者に対する理学療法介入内容の分析
篠原智行、臼田滋

1 審査結果

A

平成25年6月13日審査委員会を開き主題の論文につき審査の結果、上記のとおり判定議決しましたので報告します。

博士後期課程用

(様式8)

平成25年6月13日

群馬大学大学院保健学研究科長 殿

委員 群馬大学大学院教授
坂本 雅昭 印

委員 群馬大学大学院教授
山崎 恆夫 印

委員 群馬大学大学院教授
外里 富佐江 印

博士後期課程最終試験成績報告書

氏名 篠原 智行

試験科目 調査研究に伴うバイアスについて (合)・否

若年理学療法士の教育方法について (合)・否

多施設間共同研究の有用性と限界について (合)・否

平成25年6月13日試験を行い、上記のとおり判定しましたので報告します。